

# 季語刻々

坪内稔典

今

昔

マスク捨つひと日の己捨つるべしと

小池 康生やすお

句集「奎星」けいせい（飯塚書店）から。この句集には「補導する側もマスクをしてゐたり」もある。マスクは冬の季語だったが、コロナの日々の今年、マスクは季節を問わない日常品になっていく。「鋤焼すきやきや庭から卵やつてきし」もこの句集の作。庭で鶏を飼っているのか。このすてきなすき焼きの時、もちろん、鍋を囲む人たちにマスクはない。

2020・11・12